

# 祝 日置町成人式



平成10年度の日置町成人式が、8月15日改善センターで午前9時30分から盛大に挙行されました。  
対象者73名のうち52名が出席。祝辞、記念品が贈られ、福永真寿美さん（古市上）が「21世紀をになう国際社会人として、広く社会に目を向けるとともに、地域社会に貢献できる様、自分達の行動に責任と自覚を持つてがんばりませ」と誓いの言葉を述べました。  
式後行われた会食は、小林茂雄さん（一円）の乾杯でスタート。会場は、終始笑いのたえない和やかな場となりました。

## 一人の大人として



堀村 和也  
(長崎)

中学校を卒業して以来会っていない友人たちと会えるこの成人式の日をとっても楽しみにしていました。久しぶりに会った友人たちの変わり様に驚くともなつかしい気分の一時を過ごすことができました。

成人したといってもまだまだ全く実感というものがわいてきません。しかし、21世紀の社会を担う世代の若者として、自分に責任ある行動を取ることのできる社会人、また一人前の大人になれるように頑張っていきたいと考えています。

## たくさんの人達に 育まれて思うこと



岡崎 明子  
(大内山下)

先日、新たな出発点ともいえる成人式を迎えることができました。久しぶりに会う友人達は、とてもなつかしく共に歩んできた思い出が心の中にあふれました。  
「今の私」は、私が今まで出会ってきた人々の上に成り立っていると感じます。温かい目で見守ってきてくれた両親と家族、御指導下さった先生方、共に歩んできた友人達、様々な人達の間で少しずつ少しずつ成長してきたのです。このことを忘れて自分一人の力を過信しないように、これからの人生を一步一步、歩んでいきたいです。  
これから、大人としての責任や義務を背負うこととなります。自分は、周囲の人達の中にこそ存在するのだという自覚を基に、現代社会を担う一員として、社会を見つめ、きちんとした自分の意志や意見を持ちたいと思います。  
一人の成人として、意志ある人間になりたいし、責任ある人間でありたいと思います。そして、私がもらってきた、色々な人達からのたくさんの愛情に感謝し、大切にしながら、自分の周囲の人達にとっても自分が様々な愛情を与えられるようになりたいと思います。

## 自信を持つ



尾崎 一成  
(上城)

十五日の成人式の日、友人達と会えるのを楽しみにしていました。みんな大人っぽくなったかのように見えて、会話も照れ臭かったです。  
成人式は自分を見つめなおす、いい機会でもありません。今の自分は、外から見たら大人に見えるかもしれないけれど、心は見ため以上に備わっていません。自分に必要な事は分かっています。それは「自信を持つ」という事です。

これから社会に出て、一人前として自信が持てるように努力し、挑戦して行きたいと思っています。

